

## ご 注 意

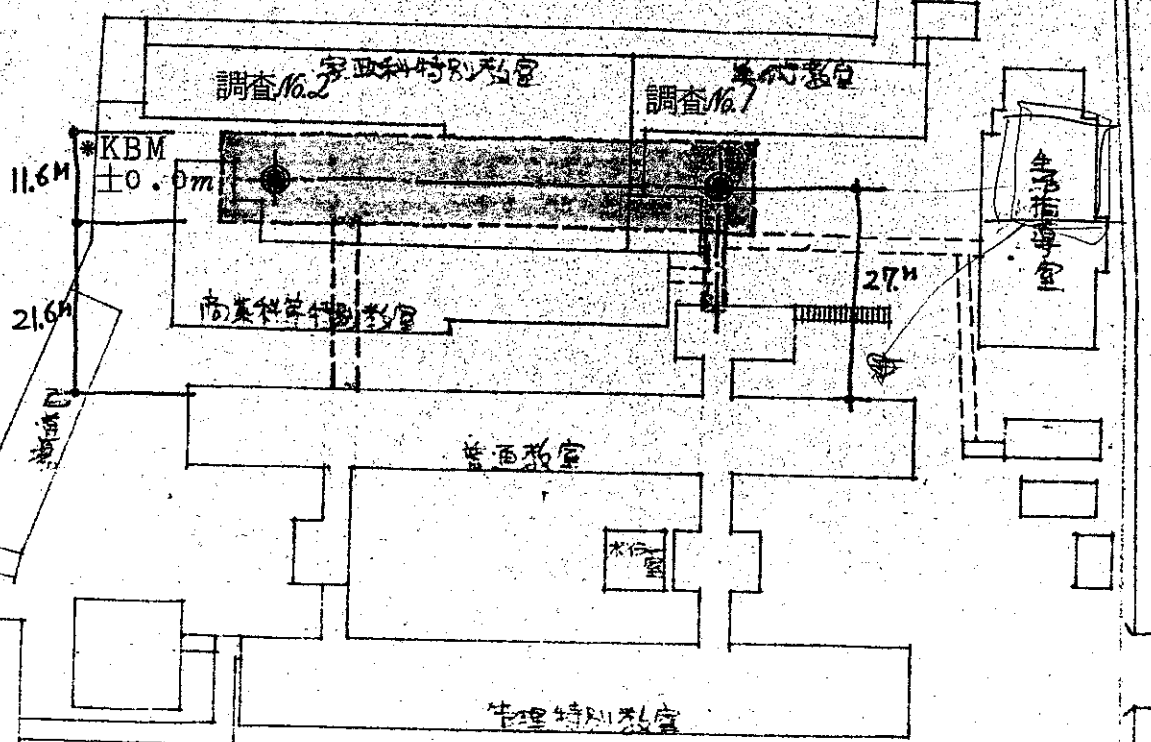
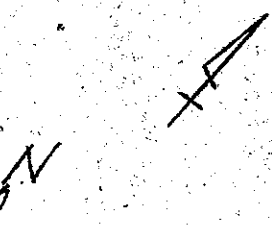
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

15M x 2ヶ所



校庭運動場

県立今市高等学校改築工事地質調査位置図

●ボーリング地点



# ボーリング柱状図

調査名 県立今市高等学校改築工事地質調査 孔番 No. 16.2 地盤高 -0.23 m

調査場所 栃木県今市市千本木432 (基準面 KBM±0)

地 形 \_\_\_\_\_ 摘 要 \_\_\_\_\_

調査期間 昭和56年2月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 GL-7.90m 調査担当者 \_\_\_\_\_

標地下水位 高(m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	土 性 色 調 相対 密度	備 考	(註) 試 料		標準貫入試験								
							番号	記号	採取深度 (m)	原位置 試験深度 (m)	打 撃 回 数						
										0	10	20	30	40	50	60	70
0	0.60	0.60	X	表土	黒灰	軽石混る	2										
0.60	1.10	0.50		軽石	黄褐	鹿沼土	1		1.15	1.65	40						
1.10	2.20	0.90		軽石	赤褐	今市軽石層			2.15	2.60	45						
2.20						軽石混る 細い腐植物混る。	2	1.1.1.	3.15	3.45	30						
3.30						5m附近より 粘着力あり	3	2.2.3	4.15	4.45	7						
4.40				ローム	茶褐色		4	1.1.1.	5.15	5.45	30						
5.50								1.2.1	6.15	6.45	4						
6.60							4	1.2.2.	7.15	7.45	5						
7.70	8.05	6.05					5		8.15	8.20	50						!
8.80						礫φ20~50mm 程度の礫主体 φ100~150mm 位の礫点在 良く締っている	6		9.15	9.20	50						!
9.90							7		10.15	10.17	70						!
10.10				砂 礫	灰褐色		8		11.15	11.21	6						!
11.10									23.23.4	12.15	50						!
12.10									12.36	12.1	61						!
13.10							9	21.29/6	13.15	13.31	16						!
14.10					暗黄褐色				39.11/1	14.15	50						!
15.10	15.15						10	及 終	15.15	15.10	10						!